

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY PURE 和合校 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 11日 ~ 2025年 11月 24日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 11月 11日 ~ 2025年 11月 24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域に沿った多種多様な活動プログラムを実施していることです。	お子様の多角的な発達を促すため、ガイドラインが示す「5領域」を網羅した年間カリキュラムを策定し、プログラムの多様化と専門性の維持を徹底しております。	今後は、個々の創造性を引き出す「レジャ・エミリア・アプローチ」を本格的に導入し、お子様一人ひとりの興味関心に基づいた、より深く探究的な活動へとプログラムを進化させてまいります。
2	専門職員による専門的支援の実施を行っていることです。	集中して取り組むことができるよう、個室を設けて専門職員と1対1での支援を意識しています。 また、個別支援計画書に基づき、保護者の要望とご本人のやりたいことのバランスを考えながら専門知識がある職員がプログラムを立案し、目標達成を目指している。	今後は、専門職が得た知見や支援の経過を全職員でリアルタイムに共有・分析する「ケース会議」の質をさらに高め、組織全体でお子様の目標達成を力強くバックアップする体制を構築いたします。
3	切れ目のない支援を行っていることです。	同一施設内に児童発達支援事業所が併設されている利点を活かし、就学前から就学後へのスムーズな移行を支える「切れ目のない支援体制」を構築しております。今後は、事業所間での合同研修や日常的な情報交換をさらに活性化させ、お子様の成長の軌跡を長期的な視点で共有し続けることで、ご家族が将来にわたり安心を感じられる一貫したサポート体制を強化してまいります。	今後も児童発達支援事業所との連携を継続し、情報共有を行いながら、より良い支援につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や地域との関わりが少ないことです。	イベント日時と提供時間が噛み合わず、地域施設や他事業所との交流の機会が少ない。	イベントを立案し、他事業所の児童を招待することで交流機会を設けていきます。 また、地域の特性や近隣施設のイベントにより目を向けていきます。
2	保護者交流会の開催日時が限られていることや、保護者の就労状況やご家庭の予定との兼ね合いにより、十分に参加をいただけていないことです。	保護者参加型のイベントは取り組んでいるが、日時が限定されているため参加できる保護者が限られている。	参加しやすい日時をアンケート等でお伺いしながら保護者会や保護者同士の交流の機会を設け、その際に、施設の方針や利用者への支援内容を改めて説明してまいります。
3			